

令和 6 年 3 月 31 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…小規模多機能型居宅介護 ひびすくす

サービス種類…地域密着型サービス

会議開催日…令和 6 年 3 月 29 日

開催場所…ひびすくす ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	1 人
利用者家族	1 人	地域代表者	人
松江市職員	1 人	包括支援センター	人
知見を有する者	人	その他 ()	人

議事

活動状況報告

※別紙報告書参照。

意見交換

※別紙議事録参照。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	

小規模多機能型居宅介護 ひびすくす 運営推進会議報告書(2/3月)

R6年3月29日現在

・利用定員

登録 26 名 (男性 7名 女性 19名)

新規登録者 5 名 (2/1～)

・平均介護度 1.64

・平均年齢 85.6 歳

要支援 1 2 名

要支援 2 3 名

要介護 1 10 名

要介護 2 7 名

要介護 3 1 名

要介護 4 3 名

要介護 5 0 名

●行事について

2月16日 誕生会・節分会

2月28日 お楽しみ昼食会 餃子定食作り

3月15日 誕生会・桜もち作り

3月26日 開設記念式

●活動状況

2月

2/16、節分会と合わせて誕生会を行いました。

事前に、段ボールで鬼のお面をご利用者様に作っていただくなど、準備を一緒に行いました。当日は職員がお面をかぶり、ご利用者様にたくさんのボールをぶつけられ、笑顔であふれる会となりました。また、“鬼”にちなんで鬼の形をしたケーキを各々作ってもらい、節分会の締めに召し上がっていただきました。

2/28、お楽しみ昼食会を行いました。

昨年、人気だった手作り餃子を調理していただきました。

久しぶりに料理に携わる方もおられ、午前中いっぱい賑やかに全員で調理を行いました。

餃子の他、焼きそば・おにぎり・中華スープ・デザートなど、それぞれ役割分担しながら、美味しい中華定食が完成しました。食事の際には、ジュースやノンアルコールビールなどから飲み物を自分で選んでいただき、自由な雰囲気での昼食会となりました。

3月

3/15、誕生会にて、桜餅作りを行いました。

生地を焼く段階から、ご利用者様に参加していただき、桜の葉や餡を好きなように巻かれまし

た。桜の香良く、好評でした。当日は、元菓子職人のご利用者様も参加され、手際の良さや細部へのこだわりが光っていました。

3/26、ひびすくすの開設記念式を行いました。

開設当初から利用いただいている方々や、お世話になっている近所の大家さんもお呼びして、この6年を振り返りました。

お抹茶をたて、ご利用者様からお言葉を頂いたり、全員で大合唱したりと、ひびすくすらしいお祝いの会となりました。

●今後の活動・レクリエーション予定

4月

誕生会、

お楽しみ昼食会（フィリピン料理）

●ヒヤリハット・事故報告

◎ヒヤリハット

- ・A様のベッド手すり（介助バー）が、固定が解除された状態になっていた。
→シーツ交換時に、固定し忘れたと思われる。シーツ交換後は、元の状態に戻す。
また、ラウンド時にも意識して手すり固定を確認する。
- ・ゴミ袋が口を開けたままゴミ箱の傍に長時間放置してあった。
→ゴミ袋交換時に、良かれと思って置きっぱなしにされていた。不衛生なので、ゴミ袋は多少袋内にまだ余裕があっても、キッチンと口を縛って所定のゴミ置き場へ移す。
- ・トイレの手洗い場に、トイレクリーナーの容器が置いてあった。
→トイレ内はご利用者様中心に物を配置する。掃除用品はご利用者様の目の前に置くようなことがないように意識する。

◎事故報告

- ・転倒事故2件
 - ①危険認知力が低く、これまでも3回ベッドからずり落ちているA様が、お昼寝中にベッド下にずり落ちておられた。前回の転倒までに、手すりの設置・ラウンドの強化・ベッド低床・床面に緩衝材設置を行っていた。この3ヵ月は転倒がなかった。
→事故の発生率が高い13：00～14：00間にラウンドを15分毎に行い、安否確認チェックを記録。
 - ②普段歩行器を利用しているB様が、自主的に杖歩行練習をされ、転倒された。
→杖が普通用だったため、杖先にゴムの滑り止めがついたものを使用してもらう。練習するときは、職員見守りで行っていただく。

●感染対策

インフルエンザ・コロナウイルス感染症について、市内高齢者施設でクラスターが相次いでいる。当事業所では、現在感染症は入っていないが、関連施設では職員やご利用者に感染が起きている。職員は自己管理・感染対応の意識を高く維持し、水際で防いでいく。また、関連施設との連携を取り、ご利用者に等しく不利益が生じないよう、いつもと同じケアが継続できるように業務体制を維持している。

●職員研修、スキルアップ関係

3月、介護福祉士の国家試験を一名が受験し、資格を取得した。

同月、BCP（業務継続計画）研修、認知症研修、虐待防止研修を行った。

●2、3月について

2月下旬～3月にかけて、ご利用者様の入れ替わりが多い月となりました。

特に、重い介護度の方が施設や病院へ移動され、軽い予防の方が多く新しいご利用となりました。平均介護度も前回より下がっています。

介護度が要支援の方でも、実は家庭で困った問題が起きている、どうしたらいいかわからない…といった相談が包括支援センターを通じて、また個人のお宅からも沢山寄せられています。できる限りお力になれるよう、間口広く承っています。契約には至らずとも、何

かのお役に立てればと思っています。

また、感染症については常に情報が飛び交っております。法人の施設で感染症などが入れば、ご利用者様に不利益が生じないように、当施設からも人員を送るなど協力体制をとっています。今後も、災害や感染症を想定した業務継続計画に従い、常にシュミレーションや意識統一を行ってまいります。